

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	レーヴ
住 所	大阪府大阪市中央区内本町1-2-14 秀和ビル10F
電話番号	06-6940-0877

事業所番号	2719402378
管理者名	末藤隆行
対象年度	令和6年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		65 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(Ⅱ) 生産活動		
①過去 3 年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	50
②過去 3 年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去 3 年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去 3 年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去 3 年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去 3 年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		点
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

（Ⅲ）多様な働き方（※）			
①免許・資格取得、検定の受検助奨に関する制度		15	
就業規則等で定めている	○		
②利用者を職員として登用する制度			
就業規則等で定めている	○		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
就業規則等で定めている	○		
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
⑤短時間勤務に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
⑥時差出勤制度に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			
就業規則等で定めている	○		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
就業規則等で定めている	○		
小計（注1）		5	点

(Ⅳ) 支援力向上 (※)		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15

（Ⅴ）地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

（Ⅵ）経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点
期限内に提出していない場合：-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計
165 点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	90,499	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	15,907	人	利用者の1日の平均労働時間数	5.69	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	--------	---	----------------	------	----

（Ⅱ）生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	-1,125,825,576	円	利用者に支払った賃金総額	132,076,829	円	収支	▲1,257,902,405	円
-----------------	----------------	---	--------------	-------------	---	----	----------------	---

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	113,540,216	円	利用者に支払った賃金総額	113,095,491	円	収支	444,725	円
-----------------	-------------	---	--------------	-------------	---	----	---------	---

前年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	145,975,446	円	利用者に支払った賃金総額	142,289,981	円	収支	3,685,465	円
-----------------	-------------	---	--------------	-------------	---	----	-----------	---

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（令和6年度）における取組（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	☒
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☐
---------------------	--------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☐
----------------------	--------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

（Ⅳ）支援力向上

前年度（令和6年度）における取組（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☒
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名	発達障がい理解と支援
研修講師	小田切 早苗
実施日・受講者数	6月24日 3人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☐
※研修、学会等名	
実施日	月 日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	☒
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名	有限会社奥進システム
実施日/参加者数	12月10日 4人
※他の事業所名	
実施日/参加者数	月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☒
※商談会等名	Web販促&デジタル活用展2024
主催者名	公益財団法人 大阪産業局
日時	6月12日
内容	Web・SNSを活用し集客を行い、売上、認知度向上などを検討している企業との商談会

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☒
◎当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日	令和3年5月1日
人事評価制度の対象職員数	280名
うち昇給・昇格を行った者	265名
当該人事評価制度の周知方法	自社システムによる周知

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☒
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☒
※配置期間	4月1日～3月31日
就業時間	9:00～18:00
職務内容	職業指導員として外部就労へ清掃業務担当として担っている。

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☒
※評価を受けた日	令和4年9月30日
第三者評価機関	一般社団法人ば・まる

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	☐
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

（Ⅵ）経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	☐
※受理日	年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

先進的事業所の視察報告書（支援力向上のための取組）

事業所名	有限会社奥進システム
住 所	大阪府大阪市中央区錦屋町2丁目2-4 イチクラビル 4F
電話番号	06-6944-3658

事業所番号	
管理者名	奥脇 学
対象年度	令和6年度

視察・見学の概要

<活動内容> 視察場所 大阪府大阪市中央区錦屋町2丁目2-4 イチクラビル 4F 実施日程 令和6年12月10日（火） 14：00～ 参加者数 等 奥脇 星野 西京、永易		<視察の様子> 活動の様子 イチクラビル4Fが奥進システムのフロアとなっており、人数の割に広々とした空間で業務を行われていた。作業スペースについてもバリアフリー化、動線の確保や、それぞれの特性にあったオフィスグッズを取り入れて、業務の円滑化に努められていた。基本の管理は各部門のリーダーが行っているが職員の体調把握及び管理は代表自ら行っている。 成果物の写真  	
<目的> 先進的事業者活動見学 自社事業所の支援力向上と先進的事業者での情報収集			
<成果> 実施した結果 実際の現場での配慮事項、業務の円滑化に向けての取り組みや、自社開発管理システムに付いてのご説明を受けた。事業所でも現状危険を感じる配線があった為、弊社を参考に上から電気を供給できるように工夫した。 得られた成果 体調管理の面で月毎に決めれる勤務体系を設けられており、それぞれにあったスケジュール管理が行えている。また業務に付いても円滑に連絡が取れるよう自社専用のツールやシステムを有効活用されているなど参考になるお話を伺えた。 今後事業所としては、今回の見学を参考に体調不良の方並びに心身状態が優れない方への配慮を事業所としてどのように行っていくか。また業務における円滑化に向けて、対応も考察していく必要があると思われる。 課題点		活動内容の追加コメント 最初に奥脇代表より簡単な事業説明を受け、実際の業務エリア及びフロア内の見学を行った。実際現場で行っている配慮事項を確認しながら現場レベルで行っている配慮事項の説明をしていただいた。また奥進システムでは在宅勤務を導入されているため、どのように業務を円滑に進めているかや職員の体調管理諸々のスケジュール管理の説明を経て、質問を何点かさせていただいた。	

視察先の企業等の意見または評価

視察した結果に対する意見または評価 人員の配置を総務課の方並びに代表で行なわず基本チームごとに実際、雇用している障がい者の方の意見を参考に雇用している。またスケジュールの管理や納期の管理などについてもチームごとにしっかりとした体制を設ける事が出来ているため、作業は効率的に残業もなく進める事が出来ているご様子。代表自ら各職員の体調管理を行い現場の把握に努めており、相談し易い環境作りを実現されている。 今後の事業強化に向けて 当事業所に比べると小規模環境の会社となるため、今回見学を経て得た知識並びに対応を全て導入していく事は難しいと思われるが、動線の確保や特性にあったオフィスグッズの導入等、簡単な事は参考にする。また奥進システムが導入している在宅勤務のシステムや勤務体系の流動性も参考にして事業所としての環境をより改善していきたい。業務面でも納期の期限を予め長めに設定して行うなど、なるべく焦りが生まれない環境作りや作業の進捗の見える化を行っている、当事業所納期の調整は勿論、作業の見える化も検討していきたい。			
視察先企業名	有限会社奥進システム	担当者名	奥脇 学

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社レーヴ	事業所番号	2719402378
住 所	大阪市中央区内本町1-2-14秀和ビル10F	管理者名	末藤 隆行
電話番号	06-6940-0877	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所：大阪府大阪市中央区南新町2丁目4-3大平ビル1F アトリエ中大江公園前 実施日程：2025年2月19日(水)～23日(日) 実施概要：株式会社レーヴの作成した羊毛フェルトの作品を第5回「アトリエ×コレクション」-障害者アート冬の祭典-に出展した。イヌやネコなどの動物や、ひな人形などの作品を展示販売を行った。 利用者数：5名の利用者が作成されたものを販売した。	<活動の様子> 
<目的> 【地域活動のほつち】 株式会社レーヴとして、就労継続支援A型で羊毛フェルトの仕事内容をアピールし、地域にとって就労継続支援A型事業を受け入れていただくことを目的とした。 【地域にとってのメリット】 就労継続支援A型事業所が広く認知していただくことで、福祉的就労の選択肢を利用できる方が増える可能性がある。 【対象者にとってのメリット】 作成した商品が展示・販売されることによって自信をつけて、さらなる意欲的な活動につながっていく。	
<成果> 「アトリエコレクション」に出展・販売した結果、7点の作品が販売につながった。また多くのお客様に「かわいい」と高い評価をいただき、Instagramやmineへの集客を見込めた。今回の出展を通して、利用者への製作意欲が高まり、仕事に対するの前向きな発言が多くなった。また出勤率も向上された。 課題点としては、販売価格の設定と季節感のある商品があれば更なる顧客獲得へとつながった。	

連携先の企業等の意見または評価

今回、第5回「アトリエ×コレクション」-障害者アート冬の祭典-に出展させていただいて、販売実績も上がり大変高い評価をいただいた。クオリティが高い点が評価されたが、出展数がもう少し増えるとバリエーションがあり、選んでいただけるのではとの事であった。実際のお客様の意見として、非売品と商品の見分けがつかなかった、販売価格がもう少し低ければ購入しなどの意見をいただいた。今後はリーズナブルな商品の追加（ガチャガチャ等）や販売スペースのディスプレイ配置等の第6回「アトリエ×コレクション」への改善点が見られた。			
連携先企業名	株式会社 絆ホールディングス	担当者名	下川

就労継続支援 A 型事業所における支援力向上報告書

事業所名	レーヴ	事業所番号	2719402378
住 所	大阪府中央区本町1-2-14秀和ビル10階	管理者名	末藤隆行
電話番号	06-6940-0877	対象年度	令和6年度

販路拡大の商談会等への参加

<活動内容> バリアフリー2024 活動場所 インテックス大阪 実施日程 2024年4月17日(水)11:00~ 活動目的 ビジネス商談 出展企業との交流促進による新たなビジネスの創出促進	<活動の様子> 活動の様子の写真   
<目的> 活動のねらい 大阪府内 障がい者施設商品のバザー等、当事業所のものづくり事業の商品開発に繋げていく。 事業所にとってのメリット 事業運営の安定化 対象者にとってのメリット 幅広い業務内容と、障がい福祉事業として出来る事・必要とされる事を見出したうえでの販路開拓。	
<成果> 実施した結果 出展者による技術関連のプレゼンテーション 得られた成果 障がい福祉業界におけるの最新情報・ニーズ 課題点 障がい児・者の事業所を運営しており、様々な特性を持たれた方への支援・コミュニケーションの向上を図っていくツール 災害時の対策強化（要配慮者の防災を考える）	活動内容の追加コメント 4月17日～19日にかけて、高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展が開催された。また、昨今の課題である災害対策といったエリアも出展があり、安定した事業所運営に繋げるため、専門家の声を直接聞く事が出来たのも良かった。また、福祉事業所としてバリアフリーの導入についての知識も得る事が出来た。

販路拡大に向けた企業等の意見または評価

今年のバリアフリー展は一般企業様のご来場も多かった気がします。 障害をお持ちの方でも一般就労できるかともいっしょなことは、弊社内でも実証されています。 今後、障害者の法定雇用率も上がっていきそうですが、その中で、障害をお持ちの方も就職のチャンスが訪れることもあると思います。物理的なバリアにより就学・就労が妨げられているケースも、まだまだございます。お困りの方がいらっしゃいましたら、ご相談いただければと思います。 今後の支援力強化に向けた課題 販路拡大のためには事業所として支援力も必要になってくる。利用者様が安心して利用できる環境あつての事であり、コロナ禍が収束し、一般企業様のリアルな取り組みを見れたことは、逆に事業所の課題が見えてきた。障がい者雇用を行っている企業様の様々な取り組みが、A型事業所としても求められてくると実感した。			
企業名	アビリティーズ・ケアネット株式会社	担当者名	岩井

就労継続支援 A 型事業所における支援力向上報告書

事業所名	レーヴ	事業所番号	2719402378
住 所	大阪市中央区内本町1-2-14秀和ビル10階	管理者名	末藤隆行
電話番号	06-6940-0877	対象年度	令和6年度

販路拡大の商談会等への参加

<活動内容> 【Web販促&デジタル活用展2024】 活動場所 大阪産業創造館3F・4F 実施日程 2024年6月12日(水) 10:30-16:30 活動目的 中小企業のDXやマーケティングの課題・問題を独自のシステムやノウハウで解決およびビジネス商談	<活動の様子> 活動の様子の写真     活動内容の追加コメント 自社Webサイト、SNS等を運用しているが、まだまだ事業所の取り組みを知ってもらうためには、何らかの変化・工夫が必要だと感じた。今後は、デジタルを活用し、事業所内の体制や業務を変革し事業を加速させていく事が、Web販促に繋がると知る事が出来た。
<目的> 活動のねらい Web・SNSを活用し集客を行い、売上、認知度向上 事業所にとってのメリット 事業運営の安定化 対象者にとってのメリット 販路拡大による収益アップ、Web販促やデジタル活用により販売促進や業務効率化につながる。	
<成果> 実施した結果 出展企業による「Webのお悩み相談会」 得られた成果 デジタルに関して広く情報収集が出来た 課題点 事業所がデータとデジタル技術を活用して、製品やサービス、ビジネスモデルを変革していく事や競争上の優位性を確立していくこと。	

販路拡大に向けた企業等の意見または評価

ネットを使った販促や認知度向上について、一方通行ではなくお客様に楽しみながら社内・製品を知ってもらう事にスポットを当てている。その一つとして、「ゲーム感覚でPR」というアイデアを用いている。ユーザーが直接製品やサービスを体験したり、会社の歴史・商品開発までの道りをゲームのシナリオに組み込み、より親しみを感じてもらう。また、SNSとも連動し、ユーザーからさらに共有していただく事で、販路拡大につながっている。 今後の支援力強化に向けた課題 A型事業所Webサイトのみの販路拡大にはどうしても限界があり、今の世の中はやはりSNSといったデジタル技術を活用していかなければ時代に乗り遅れてしまう。今回のような商談会へ積極的に参加していくことで、「販促」に必要なアイデアを参考に、DXの導入・人材育成・確保が今後の課題である。			
企業名	Talon	担当者名	田中